

紙ごみの資源化への取り組みは

公明党津山市議員 岡安謙典



青空リサイクルプラザの様子

質問↓事業系紙ごみと家庭紙ごみの資源への取り組みと効果は。

答弁↓事業系紙ごみは、収集運搬許可業者懇談会、従業員研修会を開催し、資源化の呼びかけを行い、専門家にも相談している。排出前の対策は事

業系資源化マニュアルを現在作成中で完成すれば公表し事業所に周知を図ってきたい。十九年度の事業系紙ごみの搬入量は一万一千四百九十トンで、十八年度より九百四十四トン、七・四％の減量となっている。家庭紙ごみの出前資源回収は、現在、東一宮地区、高野本郷地区の二ヶ所であるが十月から新たに二宮地区を加え、より一層、紙の資源化回収に努めていきたい。

質問↓携帯電話のリサイクルの取り組みは。
答弁↓希少金属が多数使用されており、広報紙やホームページでリサイクルを呼びかける。

これからは質素で明るい社会を！

市民と歩む会 秋久憲司



自然につつまれた生活

質問↓今後三年間の中期実施計画は人口の減少の時代に適切に対応する必要がある縮小時代の政策として、自然や歴史文化を大切にし、農地を守り公共交通の整備、市民活動の活性化を図り、

質素で明るい社会づくりなどの取り組みを大切に進めるべき。

市長↓国の地方交付税の削減で財政状態も今後さらに厳しくなる。人口減少、少子高齢化へ対応し、今までの新設・拡大路線から既存の施設の活用・集約路線への転換を目指す。

質問↓下水道事業は原価回収率が約二十％、使用料の大幅な値上げが心配で計画の見直しを。また認可区域では下水との接続を住民が待っている。十年以内には整備すべきと思うが。

部長↓地域に適した方法で整備する。二十一年度で計画の全体を見直したい。

法的な根拠のない任意団体で決定とは

日本共産党津山市議員 末永弘之



クリーンセンター建設予定地の市内・領家地区

質問↓クリーンセンター建設について、津山ブロックごみ処理広域化対策協議会で、事業の推進が行われ、住民による文書開示も監査請求も対象の団体ではない「任意団体だ」ということです

から、地方自治の役割が果たせてない。答弁↓関係する七つの市町村で組織され、予算などは、それぞれの議会でも議決をいただいている。
質問↓開示請求や住民監査請求などの住民の権利が生かされる対象団体になつてから、事業推進の決定をすべきではないのか。
答弁↓来年四月を目標にして、一部事務組合の設立へ努力している。
質問↓クリーンセンター建設予定地に、ひ素や鉛が環境基準を超えて存在しているが、どうするのか。
答弁↓環境アセスで調査していく。

市民の皆様と協働で道路美化を

市民と歩む会 村田隆男



市内・院庄地区

質問↓車道、歩道、縁石などの雑草除去事業に取り組んで、役所の各部局の窓口で花の種を配布しては。

答弁↓県の事業も活用し関係団体と協働で環境美化運動を推進したい。花いっぱい

い運動の取り組みについて論議していきたい。

質問↓油類や肥料の高騰による施設園芸農家などの支援対策は。農地、水、環境対策事業など実施した時の効果は。
答弁↓国と県の緊急対策事業があり関係機関と連携し事業の周知を図っていきたい。地域の活性化等にも大きな波及効果があるものと考えます。

質問↓来年五月スタートする裁判員制度で裁判員の保護と判決後の精神的問題点が発生した時の責任は。
答弁↓責任所在、裁判員への逆恨み(危害)、事件の心理的負担等の様々な「不安の声」は司法に伝えていく。

◎ 有権者が威迫してあるいは議員を陥れる目的で寄付を求めると処罰されます。